

# 魅力発信！えひめ農業NOW

令和4年 11 月

## 【お知らせ】

魅力発信！えひめ農業NOWは、県ホームページ(※1)で、県下全地区の内容について、閲覧できます。

※1 掲載場所：ホーム＞仕事・産業・観光＞農業＞農業の魅力発信

※2 この動向は、11 月中に各普及地区から報告のあったものをとりまとめたものです。

～愛媛県農林水産部農業振興局農産園芸課～

〒790-8570

愛媛県松山市一番町4丁目4-2

(TEL) 089-912-2558

(FAX) 089-912-2564



<http://www.pref.ehime.jp/noukei/>

# 目次



目次	1
11月のトピックス5選	3
3年ぶりに東予ブロックリーダー研修会を開催	3
農産加工事業者のための共同出展ブースを設置	3
関西圏でパクチーフエアを開催	4
鬼北初！愛媛果試第28号の収穫間近	4
初開催「西予米No.1コンテスト」	5
えひめ農業NOW	6
■東予地方局 地域農業育成室	6
サルによる被害の軽減効果実証を開始	6
神戸小学校で「さつまいもイベント」開催	6
「アスパラ茶」の商品化に向けて	7
就農初期農業者らが農業機械のプロからメンテナンスを学ぶ	7
青年農業者による米の試食会を開催	8
■東予地方局 地域農業育成室 四国中央農業指導班	8
「やまじ丸」を試験掘りし、今年産の収量や品質を確認	8
■東予地方局 産地戦略推進室	9
加工用青ねぎの新品種栽培実証を開始	9
■今治支局 地域農業育成室	9
スマートアグリへ向け自動草刈機を体感	9
令和4年度農作業安全講習会を開催	10
■今治支局 地域農業育成室 しまなみ農業指導班	10
しまなみGTがモニターツアーを受入	10
新たな香酸かんきつを模索	11
■今治支局 産地戦略推進室	11
しまなみ農業の産地見学ツアーを開催	11
花木の有効利用について生花店と協議	12
■中予地方局 地域農業育成室	12
局所施肥で肥料を有効活用	12
伊予なすをPR	13
JA研修生の経営管理技術習得を図る	13
■中予地方局 地域農業育成室 伊予農業指導班	14
七折小梅の生産性を高めるせん定手法を講習	14
一次産業女子が「媛かぐや」をPR	14
伊予地区の食文化保存継承に向けた動画撮影	15
中山栗せん定請負作業を開始	15

■中予地方局 地域農業育成室 久万高原農業指導班	16
農業経営者協議会女性部(耕楽)が、雑穀を使った郷土料理を学ぶ	16
愛媛CATVを通じた「こんにやく」のPR.	16
■中予地方局 産地戦略推進室	17
秋～冬出荷「さくらひめ」鉢物の認知度向上に向けてPR.	17
■南予地方局 地域農業育成室	17
種用さといもの安定供給に向け関係機関と協議	17
鳥獣被害軽減に向けたわなの作製講習会を開催	18
■南予地方局 地域農業育成室 鬼北農業指導班	18
「日吉夢産地」が農林水産大臣賞を受賞	18
■南予地方局 地域農業育成室 愛南農業指導班	19
集落ぐるみで獣害防止対策の研修会を開催	19
お手伝いプロジェクトの勉強会を開催	19
■南予地方局 産地戦略推進室	20
「媛かぐや」の出荷前講習会	20
河内晩柑せん定講習会開催	20
うめの冬季管理講習会で春季摘心処理効果を確認	21
■八幡浜支局 地域農業育成室	21
かんきつスマート農業技術を農業大学生が体感	21
有機農業の推進に向けた実践農家研修会を開催	22
収穫アルバイターの確保について地区内連携を呼びかけ	22
■八幡浜支局 地域農業育成室 大洲農業指導班	23
集落見回り活動による鳥獣害対策の支援	23
コロナ禍からの反転攻勢へ！一次産業女子グループの活動活発化	23
■八幡浜支局 地域農業育成室 西予農業指導班	24
ゆずの収穫作業 超省力化システムの検証	24
■八幡浜支局 産地戦略推進室	24
フィンガーライムほ場を個別巡回	24
■農産園芸課 高度普及推進グループ	25
しょうが根茎腐敗病の抑制に向け対策を指導	25
さといも生産の省力化に向けた生分解性マルチの有用性を関係機関と検討	25

## 11月のトピックス5選



標 題	3年ぶりに東予ブロックリーダー研修会を開催		機関名	東予地方局地域農業育成室
年月日	令和4年11月15日	場所	西条市内	
指導対象	東予地区青年農業者、就農初期農業者、関係機関等（25人）	連携機関	西条市、えひめ農林漁業振興機構	
普及指導内容	<p>○東予地区内の青年農業者と就農初期農業者の情報交換、技術向上と地域農業のリーダーとしての資質の向上を図ることを目的に研修会の開催を支援した。</p> <p>○当日は、西条地区会員の戸田佑基氏による講演「SNSを使った観光農園（ブドウ）の経営」、えひめ地域鳥獣管理専門員（当室職員）による講話「生産基盤維持のための鳥獣害対策」を行った。</p> <p>○また、戸田果樹園のサル被害防止対策を見学した後、園内で昼食とみかんの摘み取り体験で交流を図り、午後からは、今年リニューアルオープンした「ときめき水都市」と「周ちゃん広場」の視察を行った。</p>			
結果と今後	<p>○参加者からは、「同世代の会員から経営の話を聞け、刺激になった」「地元でもサルの被害が増えており、対策の参考になった」「他地区の会員や、地元の就農初期農業者等と連絡先が交換できてよかった」との声が聞けた。</p> <p>○同協議会では、今後も様々な交流会を開催し、就農初期農業者をはじめ、東予地区の青年農業者のつながりを深めていく。</p>			
				<p>左：戸田佑基氏の講演</p> <p>右：戸田果樹園で昼食とみかんの摘み取り体験で交流</p>

標 題	農産加工事業者のための共同出展ブースを設置		機関名	今治支局産地戦略推進室
年月日	令和4年11月13日、27日	場所	今治港せとうちみなとマルシェ会場	
指導対象	「しまなみみんなのディッシュ」出展事業者 15事業者	連携機関	せとうちみなとマルシェ実行委員会、今治地域観光協会	
普及指導内容	<p>○13日から毎月2回今治港で開催される「せとうちみなとマルシェ」において、地元の農産加工事業者が商品を出展、販売できる共同ブース「しまなみみんなのディッシュ」を設置した。</p> <p>○同ブースは、局予算事業「しまなみ地域の魅力ある農業産地化事業」の一環として設置し、県内外の観光客等に地元産のオリーブやレモン、小麦等の加工品、ワインや有機農産物や花木等を紹介、販売した。</p>			
結果と今後	<p>○第1回は雨天で来客数が少なかったものの、2回分の売上は44万円となった。</p> <p>○当室は引き続き共同ブースを設置し、地元の農産加工品を広くPRする。</p> <p>○今後はタオル美術館や市内にオープン予定のオリーブ専門店等の観光施設に、グループの常設販売コーナーを設置する。また、同グループ等が進める地元の食文化を伝える農産加工商品の認証制度の創設についても支援する。</p>			
				
飲食コーナー		物販コーナーの陳列		テレビの取材



標 題	関西圏でパクチーフェアを開催		機関名	中予地方局産地戦略推進室
年月日	令和4年11月21日～27日	場所	関西圏の飲食店（4店舗）	
指導対象	パクチー生産者	連携機関	県大阪事務所、JA えひめ中央	
普及指導内容	<p>○中予地域のパクチーの主な出荷先である関西地域における認知度向上と需要拡大を目的に、県大阪事務所の協力を得て、えひめ食の大使館など4店舗で「えひめ産だよ！ぱくぱくパクチーキャンペーン！」を開催。</p> <p>○期間中、協力店は中予産パクチーを使用した料理を提供し、料理を注文した方が、料理画像をInstagramに投稿すると、抽選で中予産パクチーが当たるといふもの。</p>			
結果と今後	<p>○店舗からは、「パクチー料理は好評で、メニューによってはお代わりの注文もあった」「愛媛産のパクチーは興味を引いた。注文も多かったので今後もメニューの一つとして考えたい」と好感触であった。</p> <p>○引き続き、関西圏を中心としたパクチーの認知度向上と需要拡大に取り組む。</p>			
  <p style="text-align: center;">提供されたパクチー料理</p> <p>キャンペーンポスター （パクチーラーメン、無限パクチー、ユーリンパクチーせんざんき、根パクチーの天ぷら）</p>				




標 題	鬼北初！ 愛媛果試第 28 号の収穫間近		機関名	南予地方局地域農業育成室 鬼北農業指導班
年月日	令和4年11月	場所	鬼北農業指導班	
指導対象	鬼北地域果樹生産者	連携機関	果樹研究センター、みかん研究所	
普及指導内容	<p>○地方局予算「南予儲かる農業人材育成事業」の一環として、近年の地球温暖化を逆手にとり、県内では比較的寒冷的な鬼北地域への「愛媛果試第 28 号」の導入に向けた栽培実証に取り組んでいる。</p> <p>○屋根掛け栽培を行っているが、10月からはさらに樹冠下にタイベックシートによる開閉マルチを設置し、着色促進と品質向上を図っている。</p> <p>○7月から肥大調査及び果実分析（糖度、酸度）を継続して行っており、11月下旬現在、果樹研究センター及びみかん研究所の平年値と同程度で推移している。</p>			
結果と今後	○12月に大阪の市場関係者に鬼北産「愛媛果試第 28 号」の評価を調査予定。今後も継続して調査を行い、鬼北地域における産地適応性を検討していく。			
 <p>左：開閉マルチを設置 右：順調に生育中</p>				





標 題	初開催 「西予米 No.1 コンテスト」	機関名	八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班
年月日	令和4年11月9日、29日	場所	JA ひがしうわ本所
指導対象	出品者延べ21人、JA・行政関係者等 (9人)	連携 機関	西予市、JA ひがしうわ
普及指導 内容	<p>○西予市内で生産される「西予米」の認知度向上と需要拡大を目的に「西予米 No.1 コンテスト」を初めて開催した。</p> <p>○コンテストには、極早生部門12点、中生部門9点の出品があり、1次審査（食味分析計、穀粒判別機）を通過した各部門4点（計8点）を、最終審査（食味）でJA・行政関係者等9人が試食し、各部門から最優秀賞・優秀賞各1点（計4点）を選出した。</p> <p>○表彰式での審査講評では、当班から粒張りのよい米づくりの重要性を呼び掛けた。</p>		
結果と今後	<p>○今後、市内2か所の直売所にて、受賞した4点の販売（5kg、2kg袋）が予定されており、市内外の消費者に「西予米」の美味しさをアピールしていく。</p> <p>○コンテストで入賞した生産者の栽培技術等を解析しながら、高品質「西予米」の生産振興を図る。</p>		
			
		<p>左：「西予米No.1 コンテスト」食味審査 右：表彰式</p>	

## えひめ農業NOW



標 題	サルによる被害の軽減効果実証を開始		機関名	東予地方局地域農業育成室
年月日	令和4年11月2日	場所	西条市丹原町中川地区	
指導対象	サル対策モデル集落リーダー(3人)	連携機関	(株)野生鳥獣対策連携センター 阿部豪氏	
普及指導内容	<p>○現在、本地区寺尾集落をサルによる被害対策実践モデル集落として、大型捕獲おりを設置して捕獲実証等を支援しているところ。</p> <p>○今年度、新たに「挑戦的新技术等先行モデル実証事業」を活用しクラウドセンサーカメラを用いたサルの追い払いによる被害軽減効果の実証を開始した。</p> <p>○今回の実証では、サルの渡りを確認した13カ所のうち痕跡が濃い5カ所にクラウドセンサーカメラを設置し、カメラで出没が確認されると、LINEへ通知されるよう設定。集落リーダー3人が受信後、煙火保有者(西条市で使用講習会受講済)へ連絡し、追い払いを実施した。</p>			
結果と今後	<p>○設置後、カメラでの出没を4回(11/29現在)確認し、いずれも追い払いを実施。</p> <p>○今後も柿・かんきつの収穫時期が続くため、実証を継続し効果検証を進める。</p>			
<p><b>【挑戦的新技术等先行モデル実証事業】</b> 鳥獣管理専門員が既存の対策からもう一段階上の効果的・効率的な対策となりうる新技术等に取り組む事業</p>				
			<p>左：設置したセンサーカメラ</p> <p>右：LINEグループへ通知されたサルの出没</p>	



標 題	神戸小学校で「さつまいもイベント」開催		機関名	東予地方局地域農業育成室
年月日	令和4年11月17日	場所	西条市立神戸小学校	
指導対象	西条市青年農業者協議会員(9人) 西条市立神戸小学校3年生及び教員(41人)	連携機関	西条市農水振興課	
普及指導内容	<p>○会員の資質向上及び地域農業への貢献等を目的に、青年農業者の組織活動の一環として、さつまいも栽培の作業体験を通じた食農教育活動を支援しており、今年度は新たな取組として「さつまいもイベント」を実施した。</p> <p>○同イベントは焼き芋体験の他に、当室職員による「西条市の農産物」の講話や、これまでの作業体験の様子を編集した動画の視聴、会員による「さつまいも講座(クイズ形式)」を行った。</p>			
結果と今後	<p>○クイズ形式の「さつまいも講座」では、全問正解する児童もいて、農産物への関心の高さがうかがえた。</p> <p>○先生からは「大変ありがたいイベントだった。児童は大変喜んでいて」、参加した会員からは「子供たちが楽しんでいて会の大切さを感じ、来年も新たに何かを加えた形で実施したい」との意見があった。</p>			
				
				
			<p>左：会員と一緒に焼き芋作り</p> <p>中央：西条市の農産物の紹介</p> <p>右：さつまいも講座</p>	


標 題	「アスパラ茶」の商品化に向けて		機関名	東予地方局地域農業育成室
年月日	令和4年11月	場所	西条市内	
指導対象	西条地区青年農業者連絡協議会員	連携機関	県立西条農業高等学校、JA周桑、就労支援施設「あけぼの」	
普及指導内容	<p>○同協議会員のアスパラガス生産者に対し、関係機関と連携のうえ、アスパラガスの廃棄部位を活用した商品開発を支援した。</p> <p>○この取組みは、年間200tの生産量を誇るJA周桑で、20tが廃棄されており、それらを「アスパラ茶」として有効活用できないか関係機関と検討を重ねてきたもので、今回は試作した「アスパラ茶」の試飲会を実施した。</p>			
結果と今後	<p>○参加者からは「甘い」「香ばしい」「スティックのような形状がおしゃれ」「機能性成分が入っていれば定期的に購入したい」との高評価を得た。</p> <p>○生産者からは「廃棄部分が有効活用されることで所得向上に繋がり、部会活動を活性化させたい」、JA周桑の指導員からは「緑のささやき（JA周桑のアスパラガスの商品名）の知名度を上げ、生産者数や所得の増加に繋げたい」との声が聞けた。</p> <p>○協議を重ねる中で、お茶だけでなく「アスパラ粉末」として利用するアイデアも出ている。</p> <p>○今後、西条農高と共同で試飲会及びアンケートの実施を検討するとともに、福祉事業所から「就労支援施設でのパック詰めや、シール貼り等で農福連携も可能」との回答もあることから、地域を巻き込んだ取組みを目指す。</p>			
 <p>左：西条農高との打合せ 中央：「アスパラ茶」の試作品 右：アスパラ粉末としての試作</p>				



標 題	就農初期農業者らが農業機械のプロからメンテナンスを学ぶ		機関名	東予地方局地域農業育成室
年月日	令和4年11月25日	場所	東予地方局西条第二庁舎	
指導対象	就農初期農業者（15人）	連携機関		
普及指導内容	<p>○就農初期農業者の早期経営確立に向けて、「就農初期農業者研修会（8回/年）」を開催した。</p> <p>○今回の研修会では、当室から農作業中の事故の実態を説明し、トラクター運転時のヘルメットとシートベルトの着用など、農作業事故防止対策を指導した。</p> <p>○また、西条地区青年農業者連絡協議会の会員の（有）青野機械サービス 青野達広氏が、農業機械のエンジンがかかるまでのプロセスを理解することで機械の不調に気づきやすくなること、さらに農業機械の使い方やメンテナンス方法を説明した。</p>			
結果と今後	<p>○出席者からは「機械を長持ちさせる方法を知れて良かった」「日頃の悩みを解決できた」との感想が聞けた。</p> <p>○研修会後のアンケートに回答した全員から、今後も農業機械の研修会があれば参加したいという要望が寄せられており、来年度も開催を検討する。</p>			
 <p>左：農機具の基本的な使い方講座 中央：メンテナンス実習 右：職員による農作業安全指導</p>				








標 題	青年農業者による米の試食会を開催		機関名	東予地方局地域農業育成室
年月日	令和4年11月30日	場所	西条市	
指導対象	西条地区青年農業者連絡協議会会員 (8人)	連携 機関		
普及指導 内容	<p>○資質向上に向けた活動の一環で、同協議会の作物実践班員を中心に、県内外6産地の玄米10種類を収集して日本穀物検定協会の要領に従って食味調査を行った。</p> <p>○調査の内訳は「コシヒカリ」(宮城県・新潟県・石川県・愛媛県新居浜市)、「ミルキークイーン」(新潟県・愛媛県新居浜市)、「ひめの凜」(愛媛県東温市)、「ササニシキ」(宮城県)、「夢つくし」(福岡県)、「だて正夢」(宮城県)。</p>			
結果と今後	<p>○会員からは「今年は管内で白未熟粒が多く発生したが、玄米を見比べると他産地の米も同様の傾向があった」「他産地の水稻栽培のこだわりを知ることができ良い機会となった」「県外の米と比較することで、管内の米の品質、味を把握することができた」との感想が上がった。</p> <p>○当室では、今後は、コロナ禍でもできる実践班活動を提案する等により同協議会の活動を支援していく。</p>			
				<p>左：食味調査を実施した10種類の米 右：当室職員から品種紹介</p>

標 題	「やまじ丸」を試験掘りし、今年産の収量や品質を確認		機関名	東予地方局地域農業育成室 四国中央農業指導班
年月日	令和4年11月7日、9日	場所	四国中央管内やまのいもほ場	
指導対象	JA うま特産部会山の芋専門部会	連携 機関	JA うま	
普及指導 内容	<p>○やまのいも「やまじ丸」の令和4年産の生育状況を確認し、今後の栽培管理に活かすための試験掘りを実施。</p> <p>○省力化に繋がるマルチ栽培の生育状況を踏まえ、普及上の課題を整理し、生産量確保に向けた検討を進めていくことを申し合わせた。</p>			
結果と今後	<p>○マルチ栽培の生産者9人のほ場から10株ずつ掘り取った結果、予想収量は、2,434kg/10a(昨年比102%)、有利販売できる秀品・優品率は80.2%(昨年92.1%)、芋平均重は537g/個(昨年比107%)と総じて良好であった。</p> <p>○露地(わら被覆)栽培の生産者8人では、予想収量は2,259kg/10a(昨年比90.0%)、秀品・優品率は79.7%(昨年76.9%)、芋平均重は433g/個(昨年比88%)となり、今年度の生育状況は、マルチ栽培の予想収量が若干多く、秀品・優品率は同等となった。</p> <p>○やまじ丸は「愛」あるブランド産品として認定され、地域の特産品として需要が高いが、生産量の確保が課題であるため、今後もJAと連携し、品質が不安定なマルチ栽培において、芋の肥大期における適切な肥培管理、かん水管理の徹底を指導し、栽培技術の高位平準化による高品質な安定生産を支援する。</p>			
				<p>左：掘取り調査 右：等級分けされたやまのいも</p>



標 題	加工用青ねぎの新品種栽培実証を開始		機関名	東予地方局産地戦略推進室
年月日	令和4年11月28日	場所	西条市西条地区	
指導対象	JA えひめ未来青ねぎ部会(1人)	連携機関	JA えひめ未来	
普及指導内容	<p>○同部会における加工用青ねぎの主力品種「緑秀」の種子供給が制限されるとの種苗会社からの連絡を受け、代替品種の選定協議を行ってきたところ。</p> <p>○その結果「菊千代」を代替品種に選定し、定植を10月24日から開始しており、今回、生育状況の確認とその後の栽培管理について指導した。</p>			
結果と今後	<p>○同品種の生育は順調で、定植は12月上旬まで連続して行うこととしている。</p> <p>○さらに、12月には、これ以外の2品種「みやび姫」、「カット姫」を定植し、更なる比較検討を行う。</p>			
				
定植後の生育状況				

標 題	スマートアグリ向け自動草刈機を体感		機関名	今治支局地域農業育成室
年月日	令和4年11月8日	場所	今治市大西地区	
指導対象	かんきつ生産者(7人)	連携機関	JA おちいまばり	
普及指導内容	<p>○スマートアグリ推進の一環として、かんきつの基盤整備園で自動草刈ロボットの実演会を開催した。</p> <p>○実演会では、メーカーの担当者が、ロボットの操作方法を説明した後、実際の園地で想定される障害物(直径3~5cm程度の枝や穴)を再現し、デモンストレーション運転を行った。</p>			
結果と今後	<p>○ロボットは、自動的に障害物を乗り越えたり回避したりと、止まることなく作業を行い、垂れ下がった枝の下も問題なく除草した。</p> <p>○参加者は、「思ったよりパワフルで、動作前に園内の障害物を除去する必要がないので良い」「これがあれば草刈り作業から解放されそうだ」と、興味津々だった。</p> <p>○今後も持続的な農業の実現に向け、スマートアグリに係る情報を発信していくこととしている。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p><b>【自動草刈機】</b> 自動草刈機は指定したエリア内の走行、充電を全て自動で行い、24時間稼働可能(雨天可)。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>枝の下を走行する自動草刈機</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>メーカーが構造を説明</p> </div> </div>				

標 題	令和4年度農作業安全講習会を開催		機関名	今治支局地域農業育成室
年月日	令和4年11月24日	場所	今治市乃万地区	
指導対象	就労支援施設（3事業者）	連携機関		
普及指導内容	<p>○農福連携による農作業時の事故防止に向け、就労支援施設の支援員および農作業員を対象とした農作業安全講習会を開催した。</p> <p>○当室職員が農作業事故の実態や防止対策のポイントを説明したあと、ヤンマーアグリジャパン(株)中四国支社が、始業前の安全点検が農作業事故の防止に役立つことを説明し、コンバインおよびトラクターの点検方法や機械の目詰まり等トラブル時の対処、作業後の手入れについて解説した。</p>			
結果と今後	<p>○参加者からは、「農業機械の内部を見て掃除方法を知ることができた」との声や、「農業機械の点検を怠るとどんな影響があるのか」との質問があるなど、活発な意見交換が行われた。</p> <p>○次回は1月に女性農業者を対象に農作業安全講習会を開き、刈払機について指導する。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>農作業事故の現状と 対策の説明</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>コンバインに係る安 全点検の実施</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>トラクターに係る 安全点検の実施</p> </div> </div>				




標 題	しまなみGTがモニターツアーを受入		機関名	今治支局地域農業育成室 しまなみ農業指導班
年月日	令和4年11月15日、21日	場所	今治市大三島町、宮窪町	
指導対象	しまなみグリーン・ツーリズム推進協議会 体験指導者（7人）	連携機関	愛媛県観光物産協会、県自転車新文化推進課	
普及指導内容	<p>○しまなみグリーン・ツーリズム推進協議会が提供する体験メニューのブラッシュアップを図るため、県観光物産協会が実施するモニターツアーの受入れを支援した。</p> <p>○ツアーでは、「大三島のイノシシ丸焼きサンドづくり」と「宮窪のレモン狩り」の2体験を選定し、各コースの消費者モニターに提供した。</p> <p>○今回のツアーは、サイクリングと地域コンテンツを組み合わせた旅行の商品化を進める県観光物産協会の事業の一環。</p>			
結果と今後	<p>○参加者からは、「炭の上でイノシシ肉の塊を焼く醍醐味があり、肉は臭みがなくて柔らかく脂もおいしい」「新鮮なレモンをその場で絞ったレモンカッシュがたまらない」などの声が聞かれ、両体験ともに好評であった。</p> <p>○当班では、今回のツアーで寄せられた意見や、今後予定されている旅行会社向けファームツアーの結果等も踏まえ、協議会に対し、既存メニューの更なる改善とともに、昨今注目が高まっているSDGsに対応した取組みの導入等を支援していく。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>【しまなみグリーン・ツーリズム推進協議会】 平成12年に地域資源を活用し、都市住民との交流を目的に結成した組織</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>イノシシ丸焼きサンドづくり</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>レモン狩り</p> </div> </div>				





標 題	新たな香酸かんきつを模索		機関名	今治支局地域農業育成室 しまなみ農業指導班
年月日	令和4年11月2日	場所	松山市農業指導センター	
指導対象	認定農業者1人、認定新規就農者1人	連携機関		
普及指導内容	<p>○上島町岩城地区において、レモン以外の香酸かんきつ品目のバリエーションとしてキーライムやフィンガーライムの試作に取り組む施設栽培農家を支援している。</p> <p>○今回、フィンガーライムの栽培拡大を模索する農家の要望を受け、先進栽培地での視察を企画・実施した。</p>			
結果と今後	<p>○保温のための施設栽培が条件となるが、日照時間の長い瀬戸内地域は栽培に適すると考えられ、小規模ハウスでの導入を検討することとなったため、引き続き技術的支援を行う。</p> <p>○販路については、当面、(株)いわぎ物産センター、JAおちいまばりの直売所等を想定し検討を進める。</p>			
<p>【フィンガーライム】 オーストラリア原産のかんきつ的一种。人の指のような形をしているのが特徴で、果肉の粒々感と香りを楽しめる。最近、国内産も出回りはじめ、高級食材として扱われている。</p>				<p>左：先進地視察 右：結実状況の確認</p>


標 題	しまなみ農業の産地見学ツアーを開催		機関名	今治支局産地戦略推進室
年月日	令和4年11月13日	場所	今治市上浦町、大三島町、他	
指導対象	今治北高校大三島分校生、農業大学 校生、一般参加者（計26人）	連携機関	大三島みんなのワイナリー、しまなみ楽農研究所、ポパイズクラブ	
普及指導内容	<p>○13日に局予算事業「しまなみ地域の魅力ある農業産地化事業」の一環として「しまなみ産地見学ツアー」を開催。しまなみ地域の農業に興味のある新規就農者や将来の担い手となりうる地元の高校、農業大学校生等が参加した。</p> <p>○ツアーではぶどう、レモン、オリーブの栽培ほ場において収穫等を体験するとともに加工貯蔵施設を視察した。また、今治港で開催された「せとうちみなとマルシェ」内で関係者が共同出展しているブースを見学し農産加工品を試食した。</p>			
結果と今後	<p>○参加者からは「生産の現場を初めて見た」「将来取り組む農業や6次産業化の参考としたい」との意見があった。今後、次年度より本格的な栽培に取り組む意向があった農業者に対しては、現地においてきめ細かな技術、経営支援活動を行う。</p>			
 <p>レモン集荷貯蔵施設の視察</p>		 <p>オリーブの収穫体験</p>		 <p>マルシェでの農産加工品の試食</p>





標 題	花木の有効利用について生花店と協議		機関名	今治支局産地戦略推進室
年月日	令和4年11月4、13、24、27日		場所	今治市吉海町
指導対象	県内生花店3社、新規栽培希望者1人		連携機関	JAおちいまばり
普及指導内容	<p>○今治市内で生産されるピットスポラム等の花木や切り出されたオリーブのせん定枝の有効利用について、今治市内及び県内の生花店と市内のオリーブ園地等で協議を行った。</p> <p>○県内でも今治市が主産地となっているビバーナム・ティナスやメラレウカは、その鮮やかな彩色からスワッグ（壁飾り）のメイン花材として利用ができる等の意見があったことから、試験的に商品化し販売することになった。</p>			
結果と今後	<p>○13、27日のせとうちみなとマルシェ内の地元の農産品が共同販売される「みんなのディッシュ」で試験販売したところ、多くの観光客の目を引き商品は完売した。</p> <p>○今後も、県内の生花店事業者等と花木やオリーブ枝の有効利用を協議するとともに、地元産品の知名度向上や販売力強化にも取り組んでいく。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>オリーブ枝利用に係る協議</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>制作販売されたスワッグ等</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>みなとマルシェでの試験販売</p> </div> </div>				

標 題	局所施肥で肥料を有効活用		機関名	中予地方局地域農業育成室
年月日	令和4年9月16日、11月21日～		場所	東温市下林、松山市正岡
指導対象	ブロッコリー、たまねぎ生産者（約80人）		連携機関	全農えひめ、JAえひめ中央
普及指導内容	<p>○肥料価格高騰対策として、局所（うね内）施肥により基肥を2割削減したブロッコリー、たまねぎの実証ほを設置。</p> <p>○施肥前には土壌分析を実施し、分析結果に基づいて施肥量を決定。</p> <p>○試験区は、トラクターによるうね立て同時施肥、対照区は手散布により肥料を散布した。</p>			
結果と今後	<p>○定期的に生育調査を行い、追肥時期等について指導を行う。</p> <p>○本技術で、収量に影響がないことが確認できれば、局所施肥技術を普及し生産者の所得向上を目指す。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>土壌採取</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>トラクターによるうね立て同時施肥</p> </div> </div>				



標 題	伊予なすを PR		機関名	中予地方局地域農業育成室
年月日	令和4年11月26日～27日	場所	松山市城山公園	
指導対象	なす生産者	連携機関	全農えひめ	
普及指導内容	<p>○伊予なすをPRするため「えひめ・まつやま産業まつり」の飲食ブースにおいて、伊予なすを使った料理の販売を全農えひめに依頼。</p> <p>○当日は、なす生産者が、ジャークチキンに焼きなすをトッピングしたお弁当等販売した。</p>			
結果と今後	<p>○購入者からは、「なすとチキンがマッチして美味しい」「なすはいろんな料理に合うと思う」との声が聞かれた。</p> <p>○今後も関係機関と連携し、なすのPR活動を行う。</p>			
				
PR ブース		伊予なすを使った料理		



標 題	JA 研修生の経営管理技術習得を図る		機関名	中予地方局地域農業育成室
年月日	令和4年11月15日	場所	JA えひめ中央 伊予中央支所	
指導対象	令和4、5年度就農予定 JA 研修生 (JA 松山市1人、JA えひめ中央27人)	連携機関	JA 松山市、JA えひめ中央	
普及指導内容	<p>○「複式簿記を学んで経営管理に活かしたい」との JA 研修生の要望に応じ、管内の JA と連携して研修会を実施。(計4回)</p> <p>○今回は2回目で、仕訳や元帳転記、農業特有の取引等について演習、指導した。</p>			
結果と今後	<p>○次回は決算修正と精算書作成の手順等について指導し、年度内に記帳技術の習得を図る。</p> <p>○次年度以降も JA 等と連携し、就農候補者の経営管理能力の向上を支援する。</p>			
<p><b>【JA 研修生】</b> 農業次世代人材投資事業を活用し、最長2年間の就農前の研修を JA で実施し、研修後は自営就農等を予定している。</p>				
		経営管理に係る研修		

標 題	七折小梅の生産性を高めるせん定手法を講習		機関名	中予地方局地域農業育成室 伊予農業指導班
年月日	令和4年10月25日	場所	砥部町七折	
指導対象	ななおれ梅組合（組合員16人）	連携機関	JA えひめ中央	
普及指導内容	<p>○着果安定のための整枝・せん定方法について技術講習会を開催。</p> <p>○地面から手が届き、作業性に優れた樹形への整枝方法と、苗木の基本的な仕立て方を実技指導。</p> <p>○また、安全で労力負担の軽いせん定作業推進のため、脚立を使わず高枝切鋏によるせん定法を器具の紹介を交えて指導した。</p>			
結果と今後	<p>○樹勢強化のためのせん定方法と結果枝を増やすせん定の方法について理解が深まった。</p> <p>○収穫作業の効率化を考えた苗木の整枝について理解が深まった。</p> <p>○作業の省力化と高齢者でも安全な作業ができる器具の紹介ができた。</p>			
 <p>作業性の高い樹形せん定法を説明</p>				



標 題	一次産業女子が「媛かぐや」をPR		機関名	中予地方局地域農業育成室 伊予農業指導班
年月日	令和4年11月4日	場所	松前町徳丸	
指導対象	一次産業女子組織「葉れるや」	連携機関	県農林水産研究所	
普及指導内容	<p>○「媛かぐや(さといも)」の栽培を推進するため、「葉れるや」メンバーのほ場に設置しているモデル園で、NHK 松山放送局による特産品紹介番組の収録を行い、収穫が簡単で非常に食味が良いことをPRし、消費者の認知度向上を図った。</p> <p>○撮影時には、「葉れるや」が栽培に取り組んだ経緯や栽培方法を紹介した後、芋の収穫を実演するとともに、メンバーが用意した料理2品をリポーターが試食した。</p>			
結果と今後	<p>○収録された映像は、11月8日NHKの夕方の番組「ひめポン」で放送され、消費者からは『媛かぐや』はどこで、いつから買えるのか等多数の反響があった。また、農家からも「来年、栽培してみたい」という声が多く聞かれた。</p> <p>○「媛かぐや」は、12月から、本格的に産直市で販売が始まることから、消費者の関心が冷めないうちに積極的に試食宣伝等に取り組み、更なる知名度向上と消費拡大を図る。</p>			
 <p>左：媛かぐや 右：NHK 収録風景</p>				






標 題	伊予地区の食文化保存継承に向けた動画撮影		機関名	中予地方局地域農業育成室 伊予農業指導班
年月日	令和4年11月7日	場所	砥部町高市	
指導対象	伊予地区生活研究協議会役員	連携機関		
普及指導内容	<p>○えひめ食農教育推進事業に係る食文化保存継承活動として、郷土料理「りんまん」づくりの動画撮影を行った。</p> <p>○併せて、地域特産品「裸麦」を使った新しい菓子作りの試作を行い、食文化の継承活動の重要性と次年度の活動等について協議した。</p>			
結果と今後	<p>○今回撮影した動画は事務局で編集し、県協議会に提出後、県協議会からYouTubeにアップして全国に配信する。</p> <p>○今後は、管内の各市町で小・中学生を対象にした食文化普及講座を開催し、地域の食文化の伝承と食と農の理解促進に努める。</p>			
 <p>調理の様子を動画で撮影</p>		 <p>出来上がった「りんまん」</p>		<p>【りんまん】 中予地区に伝わる伝統の節句菓子で、上用粉を蒸した餅に餡を包み、色付けした餅米を飾ったもの</p>


標 題	中山栗せん定請負作業を開始		機関名	中予地方局地域農業育成室 伊予農業指導班
年月日	令和4年11月28日	場所	伊予市中山町中山	
指導対象	中山町農業者協議会せん定班	連携機関	JA えひめ中央	
普及指導内容	<p>○栗の低樹高栽培による省力化の普及を目的に、中山町農業者協議会せん定班による請負作業を推進。</p> <p>○請負作業を開始するにあたり、せん定のポイントの意識統一を図った。</p>			
結果と今後	<p>○今後は、チェーンソーによるカットバックせん定と仕上げせん定について2班に分かれて作業を行い、低樹高化の普及推進を図る。</p> <p>○作業実施面積40haを目指し、1月中旬まで実施の予定。</p>			
 <p>せん定のポイント確認</p>		 <p>園地で実演指導</p>		<p>左：せん定のポイント確認 右：園地で実演指導</p>





標 題	農業経営者協議会女性部(耕楽)が、雑穀を使った郷土料理を学ぶ		機関名	中予地方局地域農業育成室 久万高原農業指導班
年月日	令和4年11月25日	場所	久万高原保健センター調理室	
指導対象	久万高原町農業経営者協議会女性部 “耕楽”(9人)	連携 機関	久万高原町	
普及指導 内容	<p>○食文化の継承活動の一環として、地域固有の雑穀を使った郷土料理の普及に取り組んでおり、同協議会の研修会(調理実習)開催を支援した。</p> <p>○管内では、古くから米の補完食料として雑穀を使用した郷土料理が多数存在しており、当日は、代表的な郷土料理で地とうきびを使った“はなこねり”や“雑穀おこわ”など三品目の調理について支援した。</p>			
結果と今後	<p>○食生活の変化等により、60歳代以下の世代においては雑穀を使った郷土料理の認知度が低いと、参加者や会食に招待した青年農業者らは「とてもおいしい、是非家族にも食べさせたい」と、好評を博した。</p> <p>○今後は、地方局予算を活用し、雑穀を使った郷土料理の伝承活動の他、新たな商品開発等の支援活動にも取り組む。</p>			
 <p>講師からポイントを学ぶ参加者</p>		 <p>はなこねり(右下)、雑穀おこわ等郷土料理</p>		

標 題	愛媛 CATV を通じた「こんにやく」の PR		機関名	中予地方局地域農業育成室 久万高原農業指導班
年月日	令和4年11月4日	場所	久万高原町面河地区	
指導対象	こんにやく芋生産者1名	連携 機関	愛媛 CATV 面河特産品開発センター	
普及指導 内容	<p>○愛媛 CATV と連携して毎月放送している5分番組「キラキラ農業！大好きえひめ」で、11月に紹介する「こんにやく芋」と「こんにやく加工品」の撮影を実施。</p> <p>○同地区でのこんにやくの歴史や栽培・加工方法について生産者にインタビューし、「今後、地域の農作物を栽培しながら健康に農業を続けていきたい」との目標を聞き取った。</p>			
結果と今後	<p>○昔から同地区で生産・加工されているこんにやくについて、CATV の視聴者に PR できた。</p> <p>○久万高原町ならではの農作物・特産品について、CATV と協力しながら引き続き PR 活動に取り組む。</p>			
				 <p>左：撮影風景 中：こんにやく芋 右：こんにやく加工品</p>


標 題	秋～冬出荷「さくらひめ」鉢物の認知度向上に向けて PR		機関名	中予地方局産地戦略推進室
年月日	令和4年11月1日～	場所	伊予農業高校、中予管内観光施設等、大阪植物取引所	
指導対象	さくらひめ生産者（13人） 伊予農業高校生（12人）	連携機関	伊予農業高校、中予管内観光施設等	
普及指導内容	<p>○秋～冬出荷の品質向上に向けて、実証ほの設置や個別巡回指導を実施している。</p> <p>○11月からの出荷に合わせ、県外市場でのPRや第2回 Instagram キャンペーンの実施、管内5ヶ所にフォトスポットを設置。</p> <p>○若者への認知度向上及び鉢物の育て方を広く周知することを目的に、生産者を講師とし、「さくらひめ」を用いた高校生への寄せ植え体験を開催した。</p>			
結果と今後	<p>○県外市場でのPRでは、県外でも一定の認知度があることを確認するとともに、販売店からは冬場の管理方法についての質問が多く、PRチラシを用いて説明した。</p> <p>○Instagram フォロワー245人（60人増）。第2回キャンペーンは1月15日まで実施。</p> <p>○高校生が作製した寄せ植えの一部は、引き続き学校で肥培管理し、春にもう一度花を咲かせるための適切な植え方や管理方法等について検証する。</p>			
			<p>左：県外市場でのPR 中央：フォトスポットの設置 右：寄せ植え体験</p>	


標 題	種用さといもの安定供給に向け関係機関と協議		機関名	南予地方局地域農業育成室 〃 産地戦略推進室
年月日	令和4年11月30日	場所	JA えひめ南本所	
指導対象	管内種用さといも生産者	連携機関	JA えひめ南、JA 全農えひめ、農林水産研究所	
普及指導内容	<p>○地方局予算「種用さといも生産体制確立事業」により、安定生産・供給体制の強化を図っている中で、9～11月にかけて実施した試し掘り調査等に基づく今年度の予想収量や、今後の栽培方針などについて関係機関を参集し協議した。</p> <p>○今年は、夏季の降雨が少なく収量の低下が懸念されたが、種用さといもについては、県内に供給する必要量を確保できる見通しであり、会議では生産者による収量・品質の差や、ほ場における越冬貯蔵中の腐敗防止対策、ハウス内での貯蔵方法等について検討した。</p>			
結果と今後	<p>○来年度の種芋栽培指針には、新たに、梅雨期であっても土壌水分や生育の状況を見ながらかん水を行うことや、さといも疫病防除用の通路をほ場内に設置すること、越冬貯蔵時における被覆資材の活用等を記載することについて確認した。また、セル苗を用いた種芋生産については、定植時期の前進による増収対策に取り組むこと等を申し合わせた。</p>			
			<p>左：関係機関と連携した調査 右：掘り上げたさといも</p>	

標 題	鳥獣被害軽減に向けたわなの作製講習会を開催		機関名	南予地方局地域農業育成室
年月日	令和4年11月8日	場所	宇和島市津島町岩松	
指導対象	宇和島市青年農業者連絡協議会4人	連携機関	宇和島市	
普及指導内容	<p>○宇和島市青年農業者連絡協議会は、鳥獣害対策をプロジェクト活動に取り上げ、一昨年度から研修会の開催やセンサーカメラを活用した侵入経路の特定等に取り組んでいる。</p> <p>○狩猟免許を取得した同協議会員から「既製品のくくりわなを購入すると価格が高いため、自作できないか」との要望があり、宇和島市猟友会会員を講師に招き、くくりわなの作製や効率的なわなの設置方法について講習会を開催した。</p> <p>○わなは、ホームセンター等で入手できる材料を用いて20分ほどで作り上げ、講師からは「今回作ったわなを活用し、ぜひ鳥獣被害の軽減に繋げてほしい」との激励があった。</p>			
結果と今後	<p>○会員からは、「自作すると既製品よりも5,000円程度安く、自分でも挑戦してみたい」との声が上がった。</p> <p>○今後は、習得したくくりわなの作製・設置技術を実践し、センサーカメラを活用した捕獲方法の共有等に取り組むこととしている。</p>			
		<p>左：くくりわなの自作 右：設置方法の実演</p>		



標 題	「日吉夢産地」が農林水産大臣賞を受賞		機関名	南予地方局地域農業育成室 鬼北農業指導班
年月日	令和4年11月22日	場所	岡山県岡山市ピュアリティまきび	
指導対象	鬼北地域農業者	連携機関	鬼北町	
普及指導内容	<p>○「令和4年度農林水産祭豊かなむらづくり全国表彰事業」に推薦した鬼北町の「株式会社日吉夢産地」が農林水産大臣賞を受賞し、11月22日に表彰式が行われた。</p> <p>○合併前の日吉村当時に当班や生活研究協議会が加わり、村づくりビジョンを策定するとともに、施設内の加工品開発や6次産業化を推進。青空市生産出荷組合の設立には、出荷者の掘り起こしや出張販売、レストラン「お山のバイキング」、農産物品評会等の活動支援に関わった。</p>			
結果と今後	<p>○当班では引き続き、人口減少が続く鬼北町日吉地域の活性化と魅力ある施設づくりを進めるため、関係機関と連携し、農産物や加工品等の特産品の振興と開発を支援していく。</p>			
		<p>左：農林水産大臣賞を受賞した(株)日吉夢産地 右：活動の取組みを発表する大森代表取締役</p>		






標 題	集落ぐるみで獣害防止対策の研修会を開催		機関名	南予地方局地域農業育成室 愛南農業指導班
年月日	令和4年11月18日	場所	愛南町御荘平山	
指導対象	愛南町平山集落（中山間集落協定組織）19人	連携機関	愛南町	
普及指導内容	<p>○愛南町平山集落で、イノシシ、シカ等を対象とした獣害防止柵の維持管理の研修会を開催し、当班職員が防止柵を補修する際のポイントや注意点を説明した後、参加者は5班に分かれて柵の補修に取り組んだ。</p> <p>○点検後には、当班がこれまでに同地区で撮影した防止柵付近の害獣の動画を上映するとともに、狩猟や鳥獣害防止対策に関する事業等について説明した。</p>			
結果と今後	<p>○参加者からは、「自分の園地で夜間イノシシが活動しているところを初めて見た」「自らが取り組める対策がよく分かった」との声が聞かれた。</p> <p>○今回補修した防止柵周辺の動画撮影を継続し、害獣の動態を集落の生産者に示すこととしている。</p>			
				<p>左：防護柵点検のポイントを説明 右：防護柵の補強をする生産者</p>


標 題	お手伝いプロジェクトの勉強会を開催		機関名	南予地方局地域農業育成室 愛南農業指導班
年月日	令和4年11月17日	場所	愛南町城辺（県愛南庁舎）	
指導対象	愛南地区青年農業者協議会 11人	連携機関		
普及指導内容	<p>○愛南町の青年農業者を対象に、かんきつ栽培の労働力確保対策「えひめお手伝いプロジェクト」の活用に向けた勉強会を開催した。</p> <p>○会では、登録方法の説明や、昨年度利用した会員からの体験談報告後に意見交換を行い、会員からは「収穫時期を中心に人手が足りていない」「今は人手が足りているが、パートさんが高齢化しており将来は不安」といった声が多く聞かれた。当班からは、昨年度に本プロジェクトを活用し、雇用の定着に至った管内の事例等を紹介した。</p>			
結果と今後	<p>○今回の勉強会后、新たに2人が本プロジェクトの農家登録をすることになり、かんきつの労働力確保に向けた本制度の利用拡大に向け、引き続き支援する。</p>			
		<p>お手伝いプロジェクト勉強会</p>		





標 題	「媛かぐや」の出荷前講習会		機関名	南予地方局産地戦略推進室
年月日	令和4年11月21日	場所	道の駅みま研修室	
指導対象	道の駅みま出荷農家7人	連携機関	道の駅みま	
普及指導内容	<p>○道の駅みまへの出荷者で、今年度初めて「媛かぐや」栽培に取り組んでいる農家への出荷前講習会を実施した。</p> <p>○現地で親芋の肥大状況や脇芽処理のメリット・デメリット等について意見交換。</p> <p>○講習会では、同駅での初出荷となることから、販売・PRを円滑かつ戦略的に行うことを目的に、出荷・販売方法や収穫後の子芋管理について、生産者間でのルールを申し合せた。</p>			
結果と今後	<p>○生育初期の少雨による影響から全体的に草丈は小ぶりで親芋の生育は不良傾向。</p> <p>○生産者らは、生育不良の原因や改善策を確認するなど、今作の作柄を踏まえ、次作に向けた取組みの意欲を見せていた。</p> <p>○販売については、同駅に特別販売スペースを設置するとともに、POPやレシピカードなどにより販売促進を図る予定。</p> <p>○なお、生育状況を踏まえ、当初の12月上旬からの販売開始を月末に変更し、同駅の年末イベントにあわせて一斉販売する。</p>			
				<p>左：ほ場で収穫時期の確認 右：出荷方法の打合せ</p>

標 題	河内晩柑せん定講習会開催		機関名	南予地方局産地戦略推進室
年月日	令和4年11月15日	場所	愛南町	
指導対象	南宇和高校生6人、JAえひめ南研修生3人	連携機関	愛南町、南宇和高校、JAえひめ南	
普及指導内容	<p>○当室普及指導員が講師を務める南宇和高校農業科の講座において、同校生徒及びJAえひめ南就農研修生を対象とした河内晩柑せん定講習会を開催した。</p> <p>○樹勢が強い同品種は大型化しやすく、作業性の悪い樹形となっている園地も多いことから、樹形改善を主目的とした間引きせん定や、夏秋梢※処理を中心に講義を行った。</p>			
結果と今後	<p>○参加した生徒や研修生は樹上や脚立での作業を通じ、その効率の悪さを実感したことから樹形づくりの重要性を認識し、せん定時のポイントについて理解を深めた。</p> <p>○作業性改善に向けた縮伐、間伐などの一般農家向け講習会は順次開催予定。</p>			
				<p>左：作業ポイントを聞く参加者 右：高い場所の作業</p> <p>【夏秋梢】樹勢の強い樹や着果不良の樹で夏から初秋の時期に多く発生する枝</p>



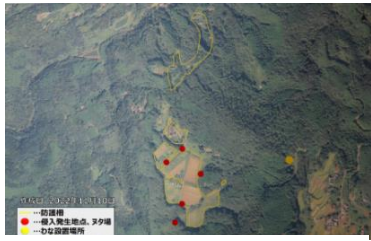
標 題	うめの冬季管理講習会で春季摘心処理効果を確認		機関名	南予局産地戦略推進室 鬼北農業指導班
年月日	令和4年11月29日	場所	松野町延野々	
指導対象	松野町梅振興会等（8人）	連携機関	(株)松野町農林公社	
普及指導内容	<p>○冬季のせん定省力化及び収量増に効果のある春季摘心処理技術のモデル園で、冬季管理講習会を実施した。</p> <p>○当日は、摘心処理後の枝の伸長等を農家と共に確認し、冬季せん定や病虫害対策の重要性について指導した。</p>			
結果と今後	<p>○同処理によって、本来はせん定時に切除される強勢な枝の発生が抑制され、着果が見込まれる枝に変化することから、基本技術として推進することを申し合わせた。</p> <p>○年内に作成する次年度栽培指針に重点取組項目として記載を予定している。</p>			
		<p>左：せん定指導</p> <p>右：摘心処理後の枝確認</p>		



標 題	かんきつスマート農業技術を農業大学生が体感		機関名	八幡浜支局地域農業育成室
年月日	令和4年11月15日	場所	八幡浜市川之石(愛媛スマート農業推進センター)	
指導対象	農業大学校アグリビジネス科生徒（5人）	連携機関	(株)NPシステム開発、県農業大学校	
普及指導内容	<p>○県農業大学校「先進農家セミナー」の一環として、次代を担う学生を対象に、AI選果機の説明・選果のデモンストレーション及びアシストスーツの着用体験を行うとともに、管内のスマート農業推進状況を説明した。</p> <p>○生徒は、スマート機器を実際に体感し、その省力効果や精度を確認するとともに、今後の可能性や期待について意見を交わした。</p>			
結果と今後	<p>○引き続き視察研修等を通して、スマート農業を広くPRし普及啓発する。</p> <p>○AI選果機については、今年度、管内2戸の農家が導入することとなっており、今後、導入農家での実用性等も検証しながら、導入推進に努める。</p>			
		<p>左：AI選果機の説明</p> <p>右：アシストスーツ着用体験</p>		

標 題	有機農業の推進に向けた実践農家研修会を開催		機関名	八幡浜支局地域農業育成室
年月日	令和4年11月16日	場所	内子自治センター	
指導対象	有機農業実践農家及び志向農業者 (15人)	連携 機関	農産園芸課、県農林水産研究所	
普及指導 内容	<p>○有機農業のさらなる推進を図るため、管内の実践者らを対象に有機農業実践農家研修会を開催した。</p> <p>○研修会では、農業指導士の大程幸子氏（内子町）が「有機農業の取組みと今後の展望」と題し、品目の選定や施肥、病虫害対策等について実体験を基に講演した。</p> <p>○また、SDGs やみどりの食料システム戦略に関する情報提供及び有機栽培に関する研究成果の報告と合わせて、当室から管内の有機栽培の現状と課題について説明し、情報を共有した。</p>			
結果と今後	<p>○参加者からは、「有機農産物の消費者への PR 機会を増やしてほしい」「まずは、環境に優しい生産技術の実践が必要」等、多数の質問や意見が出され、関心の高さがうかがえた。</p> <p>○今後も、研修会や技術実証を通して有機農業の取組面積の拡大に努める。</p>			
				有機農業実践農業者研修会


標 題	収穫アルバイトの確保について地区内連携を呼びかけ		機関名	八幡浜支局地域農業育成室
年月日	令和4年11月29日	場所	八幡浜市真穴（穴井公民館）	
指導対象	三崎雇用促進協議会員（6人）	連携 機関	JA にしうわ	
普及指導 内容	<p>○かんきつ収穫の重要な労働力となるアルバイトの確保と、地区内連携による継続雇用を図るため、JA におけるアルバイト説明会において、真穴地区等で雇用されているアルバイトに対し、三崎地区の晩柑収穫を呼びかけた。</p> <p>○また、近年、アルバイトのリピーターの多くが就農していることから、継続率をアップさせ就農につなげるため、その条件や就農意向などの聞き取りを実施した。</p> <p>○なお、八西地域では、今季約 550 人のアルバイトを確保している。</p>			
結果と今後	<p>○多くのアルバイトが、かんきつの農作業に関心が高く、三崎地区でも引き続きアルバイトとして従事したい意向があることを確認できた。</p> <p>○三崎地区は、現時点で約 7 人のアルバイトを雇用しているが、まだ足りない状況にあることから、引き続き労働力確保について支援する。</p> <p>○今後も地域の生産者や JA と連携しながら、アルバイト受入れの体制整備や働きやすい労働環境づくりを支援し、継続的な担い手確保につなげていく。</p>			
				アルバイトへ説明する生産者





標 題	集落見回り活動による鳥獣害対策の支援		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 大洲農業指導班
年月日	令和4年11月10日	場所	大洲市森山荒平地区	
指導対象	同地区農業者（5人）	連携機関	大洲市、JA愛媛たいき、大洲喜多獵友会大川支部	
普及指導内容	<p>○鳥獣被害防止を図るため、集落を対象とした防護柵等の点検方法を指導した。</p> <p>○ワイヤーメッシュ柵については破損個所の速やかな補修、電気柵については効果的な電圧設定及び柵最下段の高さ調整の重要性について指導した。</p> <p>○地区内の柵補修によってイノシシ被害が軽減した事例紹介や、鳥獣管理専門員による柵の強固な補強実演等を通じ、地区農業者の鳥獣害対策に関する意欲向上を図った。</p>			
結果と今後	<p>○集落見回りの結果をもとに、集落対策マップを作成して被害箇所等の情報共有を行い、地域と関係機関が一体となった対策を継続していくことを申し合わせた。</p> <p>○今後も、ビジョン対象モデル集落をはじめ、これまでのモデル集落への情報共有と定期的な見回り等を行い、鳥獣害に強い集落を育成・支援していく。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>防護柵の見回り</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>動画による事例紹介</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>作成したマップ</p> </div> </div>				


標 題	コロナ禍からの反転攻勢へ！一次産業女子グループの活動活発化		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 大洲農業指導班
年月日	令和4年11月26日～28日	場所	松山市城山公園、県大洲庁舎	
指導対象	ぷらいまりい会員（5人）	連携機関		
普及指導内容	<p>○昨年までコロナ禍により活動が停滞していた一次産業女子グループ「ぷらいまりい」が、With コロナのできる活動を積極的に実施している。</p> <p>○当班では、「えひめ・まつやま産業まつり」での「さくらひめ軽トラ市」において、里芋・柿・原木しいたけ等の販売やグループ活動のPRのほか、JAえひめフレッシュフーズ（株）講師によるInstagramの情報発信研修会を開催するなど、グループの活性化に向け支援している。</p>			
結果と今後	<p>○軽トラ市では、活動に関心を持った来場者もあり、交流を図りながらPRできた。また、研修会ではInstagram投稿のポイントなど、学んだことを活かし「ぷらいまりい」のアカウントを開設することとなった。</p> <p>○アカウント開設後にはJAえひめフレッシュフーズ（株）の商品とコラボするなど、様々な企画を予定しており、今後も当班が計画的に支援し、活動の幅を広げていく。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">左：軽トラ市販売 右：Instagramにアカウントを開設</p>				

標 題	ゆずの収穫作業 超省力化システムの検証		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班
年月日	令和4年11月28日	場所	城川町現地ほ場	
指導対象	(株) 味彩	連携機関		
普及指導内容	<p>○令和2年度「普及組織先導型革新的技術導入事業」により(株)味彩に導入したゆずのバキューム式収穫システムによる収穫調査を実施した。</p> <p>○昨年度実証の反省を活かし、果実がスムーズに搬送できるようホースとエスロンパイプを組み合わせ、コンテナまでの搬送路を固定し作業を実施した。</p>			
結果と今後	<p>○搬送路の出口において、落下途中の果実が横からの吸引により引っかかり、スムーズに排出されない課題が確認され、改善策について協議した。</p> <p>○今後は、吸引力の調整や排出口の外に一時的に保留するスペースを確保し、そこにたまった果実をまとめてコンテナに移す等の改善策を検討し、機械化による収穫作業の省力化を図っていく。</p>			
 <p style="text-align: center;">ゆずのバキューム式収穫システム及び排出口</p>				

標 題	フィンガーライムほ場を個別巡回		機関名	八幡浜支局産地戦略推進室
年月日	令和4年11月28日、29日	場所	八幡浜市・西予市	
指導対象	フィンガーライム産地化推進協議会員(5人)	連携機関		
普及指導内容	<p>○新設ハウスにおける定植2年目のフィンガーライムの生育状況は、概ね順調(樹高1.5m)で、早々と収穫を開始した樹もみられている。一方で、生育不良樹がみられることから、土壌採取と栽培状況の聞き取り調査を行った。</p>			
結果と今後	<p>○生育が順調なほ場において、かんきつの好適土壌環境から大きく逸脱していないことが確認されたが、生育不良樹とも大きな差はなく、別途原因を探ることとなった。</p> <p>○引き続き当協議会員の栽培ほ場における生育状況や土壌環境の調査を行い、今後の管理について協議していく。</p>			
 <p style="text-align: right;">左：栽培状況を聞き取り調査 右：分析用の土壌を採取</p>				



標 題	しょうが根茎腐敗病の抑制に向け対策を指導		機関名	農産園芸課 高度普及推進グループ
年月日	令和4年11月22日	場所	大洲市菅田	
指導対象	農業法人	連携機関	県病虫害防除所	
普及指導内容	<p>○しょうがの産地化に取り組む農業法人の一部ほ場にて、大きな減収を引き起こす根茎腐敗病のような腐敗症状が確認されたため、防除所と連携し病原菌を確認するとともに、今後の対応策を指導した。</p> <p>○なお、根茎腐敗病の発生時期は通常夏場だが、本年の高温・少雨傾向により病徴の進行が緩慢となり、秋期のまとまった雨によって収穫時期から増加したと考えられる。</p>			
結果と今後	<p>○防除所による診断の結果、根茎腐敗病の可能性が極めて高いことから、数年間は栽培を控え、土壌消毒や発生株の除去、発生箇所の消毒を徹底するよう指導し、当法人は来年以降の作付計画や防除方法を見直すこととなった。幸い病徴の進展は止まっていたため、出荷可能な芋を選り分け販売する予定。</p> <p>○今後、施設栽培も始まることからより一層の病害対策指導に取り組み、引き続き安定生産可能な栽培体系の確立を図る。</p>			
			<p>左：地下部の腐敗症状 右：地上部の枯死</p>	

標 題	さといも生産の省力化に向けた生分解性マルチの有用性を関係機関と検討		機関名	農産園芸課 高度普及推進グループ
年月日	令和4年11月24日	場所	県農林水産研究所 所内ほ場	
指導対象		連携機関	県農林水産研究所、JA、普及拠点 農業資材販売業者 生分解性マルチメーカー 等	
活動内容	<p>○県農林水産研究所が実施する戦略的試験研究プロジェクト「さといも大規模省力生産技術開発事業（R3～5）」の一環で、生分解性マルチ資材の現場実装を後押しするため、関係機関を参集（23人）し、さといもの収量調査を実施した。</p> <p>○生分解性マルチを使用した畝の農機による収穫作業の実演、芋の形状や品質の確認などを行い、生分解性マルチ資材の有用性を関係機関と共有するとともに、現地への普及性と今後の課題について意見交換を行った。</p>			
結果と今後	<p>○参加者からは、「通常マルチと比べて収量差がない」「マルチを剥ぐ時間の削減に繋がる」「現地でも実証したい」等、今後の参考となる意見が寄せられた。</p> <p>○生分解性マルチ資材利用技術の現場実装に向け、引き続き、関係機関との連携を重視し、県農林水産研究所内試験や現地試験に取り組むこととしている。</p>			
	<p>【生分解性マルチ】 土壌中の微生物の働きによって分解されるマルチ。 収穫時のマルチ資材の除去作業が不要となりプラスチック製品の廃棄量削減により環境負荷を低減できる資材。</p>			試験概要の説明



■■■ 情報の問合せ先一覧表 ■■■

機関名	所在地および連絡先
東予地方局農林水産振興部 農業振興課	西条市丹原町池田 1611 TEL:0898-68-7322 FAX:0898-68-3056
東予地方局農林水産振興部 農業振興課地域農業育成室 四国中央農業指導班	四国中央市中之庄町 1684-4 TEL:0896-23-2394 FAX:0896-24-3697
東予地方局農林水産振興部 今治支局 地域農業育成室・産地戦略推進室	今治市旭町 1-4-9 TEL:0898-23-2570 FAX:0898-22-9724
東予地方局農林水産振興部 今治支局地域農業育成室 しまなみ農業指導班	今治市伯方町木浦甲 4637-3 TEL:0897-72-2325 FAX:0897-72-1912
中予地方局農林水産振興部 農業振興課	松山市北持田町 132 TEL:089-909-8762 FAX:089-909-8395
中予地方局農林水産振興部 農業振興課地域農業育成室 久万高原農業指導班	上浮穴郡久万高原町入野 263 TEL:0892-21-0314 FAX:0892-21-2592
中予地方局農林水産振興部 農業振興課地域農業育成室 伊予農業指導班	伊予市市場 127-1 TEL:089-982-0477 FAX:089-983-2313
南予地方局農林水産振興部 農業振興課	宇和島市天神町 7-1 TEL:0895-22-5211 FAX:0895-22-1881
南予地方局農林水産振興部 農業振興課地域農業育成室 鬼北農業指導班	北宇和郡鬼北町興野々 1880 TEL:0895-45-0037 FAX:0895-45-3152
南予地方局農林水産振興部 農業振興課地域農業育成室 愛南農業指導班	南宇和郡愛南町城辺甲 2420 TEL:0895-72-0149 FAX:0895-73-0319
南予地方局農林水産振興部 八幡浜支局 地域農業育成室・産地戦略推進室	八幡浜市北浜 1-3-37 TEL:0894-23-0163 FAX:0894-23-1853
南予地方局農林水産振興部 八幡浜支局地域農業育成室 大洲農業指導班	大洲市田口甲 425-1 TEL:0893-24-4125 FAX:0893-24-5284
南予地方局農林水産振興部 八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班	西予市宇和町卯之町 3-434 TEL:0894-62-0407 FAX:0894-62-5543